

一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ

事業報告書

2022 年（令和 4 年）4 月 1 日から 2023 年（令和 5 年）3 月 31 日まで

目 次

事業の総括	・・・ 2
1. 市民活動支援	・・・ 2
(1) ボランティア活動相談窓口での相談対応	
(2) 「認定（特例認定）・指定NPO法人のゆるやかなネットワーク学習会」の企画運営	
2. 市民活動支援センターの連携・人材育成	・・・ 5
(1) 県内ボランティア活動支援センター施設長会議の企画運営協力	
(2) 県内ボランティア活動支援センター職員向け研修会の企画運営	
(3) 相談対応力向上研修（事例を用いた相互学習会）	
(4) 相談対応力向上研修 in UMECO	
3. 市民参加／地域人材育成	
(1) かながわコミュニティカレッジ事務局の運営	・・・ 8
4. 企業、大学等との連携、協働推進に向けた取組み	・・・ 15
(1) 災害時に機能する被災者支援のためのネットワークづくり	
(2) かながわ人生100歳時代ネットワークへの参加	
(3) ボランティア活動施策推進会議の企画・運営業務	
(4) 県域の仲介活動	
5. 講師・委員等の派遣	・・・ 17
6. 総会・理事会の開催状況	・・・ 17

事業の総括

2022 年(令和 4 年)度に県から受託した「アドバイザー相談業務」は、前年度と比べて相談件数は若干増え、市民活動を始めたい方の相談や、NPO 法人の設立・運営に関する相談が多数寄せられました。他方で、法人の解散に伴う手続きや事業継承に関する相談も増えつつあります。

県内市町の市民活動支援センターのセンター長を対象とした会議はオンラインで開催しました。市民活動センターで相談に従事する職員の方々を対象に、相談対応力向上研修(事例を用いた相互学習会)を初めて開催し、大変好評でした。

「かながわコミュニティカレッジ運営業務」では、年間 36 講座(40 本)、延べ 1,003 人の受講生に講座を提供しました。講義室での対面講座に加え、オンライン講座も複数実施するようになりました。

さらに、2022 年度は県の委託を受け、県内の認定(特例認定)・指定 NPO 法人を対象に、クラウドファンディングをテーマにしたオンライン学習会の企画運営を担いました。また、県内外の自治体や団体などの依頼を受けて委員や講師を派遣したほか、明治ホールディングス株式会社株主優待で寄贈されるお菓子の寄贈先として、県内 7 か所の市民活動支援センターから推薦を受けた団体等に仲介手配を行いました。

当法人、認定 NPO 法人市民セクターよこはま、認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワークの 3 団体が立ち上げたプロジェクト組織「災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ(通称:みんな)」の活動は、かながわボランティア活動推進基金 21 協働事業に採択されて 2 年目となり、県、県社会福祉協議会、県共同募金会、災害時の支援団体等と共に、災害に備えて県域の情報共有・連携体制づくりを進めました。

1. 市民活動支援

かながわ県民活動サポートセンター「アドバイザー相談業務」を受託して、県内の NPO 法人を始めとする非営利法人、任意団体・ボランティアグループを対象に、団体運営や活動上の課題への対応に向けた助言や情報提供を行いました。また、これからボランティア活動を始めたい人や団体を立ち上げたい人に向けた助言を行いました。

ボランティア団体や個人から寄せられる様々な相談には、当法人の会員を中心とする相談員がシフトを組んで対応し、専門的な相談対応は外部相談員の協力も得ました。

「アドバイザー相談業務」のなかで、「資金調達相談キャンペーン月間」を設け、ファンドレイジングに関する個別相談に力を入れました。横須賀市立市民活動サポートセンターと連携した「出張相談会」も行いました。

神奈川県と協働して、県内の認定(特例認定)・指定 NPO 法人に向けてクラウドファンディングに関するオンライン学習会を開催しました。

(1) ボランティア活動相談窓口での相談対応 (アドバイザー相談業務)

県民活動サポートセンター9 階の「ボランティア活動相談窓口」に相談員を交代で配置し、2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで、毎週火曜～土曜の 12 時～16 時、来訪・Zoom によるオンライン面談・電話・メールを通じて、市民・非営利団体(市民グループ、NPO 法人)等からの相談に対応しました。コロナ禍で対面相談の補完として導入した Zoom によるオンライン相談は、相談手段の一つとして定着しました。

ボランティア活動相談窓口では、さまざまな相談に初期対応する〔総合相談〕と、「法人設立・運営」「NPO 法人会計・税務」「資金調達」などテーマ別の〔専門相談〕を設け、幅広い相談ニーズに対応しました。

2022 年度の窓口開設日数は 244 日、相談件数は計 429 件で、内訳は、〔総合相談〕376 件、〔専門相談〕28 件、〔資金調達相談〕20 件、〔出張相談〕5 件でした。相談件数は前年度に比べ若干増加しました（2021 年度は 248 日、400 件）。

2022 年度の相談は「団体運営」「法人の設立」に関する内容が多く、〔総合相談〕と〔専門相談〕を連携させて積極的に対応しました。新たなに活動を始めたいという相談も多くありました。コロナウイルスの感染が落ち着きウィズコロナに転じた状況下、従来の活動を活発に再開した団体が多く見受けられる一方で、活動休止を余儀なくされていた間に団体メンバーの高齢化が進み、今後の団体運営や事業継承についての悩みなどの相談も寄せられました。法人の解散に伴う手続きや事業継承に関する相談は増加傾向にあり、相談が複数回にわたるケースもみられました。

＜専門相談の実施状況＞

当団体の相談員に加え、外部専門家の協力を得て、複雑な相談や専門的な内容に応じる専門相談会を毎月定期開催しました（計 47 回実施、相談件数は計 28 件）。テーマによって相談件数に偏りがあり、様々なテーマで専門相談に応じていることをより積極的に広報していく必要があります。

テーマ	実施回数	相談件数
非営利法人設立・運営相談	12 回	23 件
税理士による NPO 会計・税務相談	12 回	3 件
日本公庫による資金調達・事業計画相談	11 回	2 件
CSR 相談、SDGs 相談	12 回	0 件

＜NPO 法人向け資金調達相談月間の開催＞

NPO 法人の寄付集め・資金集めを後押しするため、11 月の 1 か月間を「資金調達相談月間」として、寄付集めを中心としたファンドレイジングに関する個別相談に力を入れました。外部の専門相談員の協力も得て、相談者と外部相談員と窓口相談員の 3 者をオンラインでつなぐ方式も取り入れました。

〔NPO のための資金調達相談月間〕

- ・ 期間：令和 4 年 11 月 1 日(火)～11 月 30 日(水)のうち 17 日間
- ・ 相談方法：窓口来訪相談、Zoom によるオンライン相談
- ・ 相談種別：クラウドファンディング、寄付、融資、助成金補助金申請の 4 種
- ・ 協力相談員：4 名及び日本政策金融公庫職員
- ・ 相談件数：20 件

＜出張相談会の開催＞

横須賀市立市民活動サポートセンターを会場として相談会を開催しました。相談会当日は横須賀のサポートセンタースタッフにも陪席いただき、相談実務を体験していただきました。

〔出張相談会〕

- ・実施日時：令和4年9月16日（金曜日）13時～17時
- ・時間：1件約40分程度、相談員1名につき3件の相談対応
- ・会場：横須賀市立市民活動サポートセンター
- ・派遣相談員：2名
- ・相談件数：5件

＜相談対応力の向上に向けた取組みなど＞

- ・相談従事者会議を年間7回、主にオンラインで開催し、相談員間でNPO設立、運営、会計、資金の調達、事業継承や後継者問題の事例を共有し、相談対応後の事例検討を行うことで、複雑な相談内容を専門相談員に適切につなげるよう知識を深め、相談員の相談対応力の向上に取り組みました。
- ・相談従事者の個人情報保護研修を行い、個人情報保護法について改めて確認・認識すると共に、適切な運用について学びました（9月）。
- ・県民活動サポートセンターとの連絡調整会議に毎月出席し、事業の実施状況や課題等について情報共有や意見交換を行いました。県が所轄するNPO法人の認証事務を行っているNPO協働推進課横浜駐在所とは、コロナ下での相談実施体制やNPO法人からの相談状況などについて意見交換を行いました（5月、8月）。
- ・かながわ市民活動フェア2022（WEB上での開催）に参加し、WEB上の特設サイトに相談窓口をPRする動画を投稿しました（1月～3月）。
- ・利用者アンケートを対面相談者とオンライン相談者に実施しました（回答数79件）。アンケートに回答された方の多くが「これからの事業活動に役立つ情報や助言が得られた」「悩みや課題の解消・軽減につながる」と評価され、相談前の情報収集や調査など入念な準備に対してや、今後の方向性への提案や情報提供、的確なアドバイスや親身な対応に対して、窓口相談員や専門家に感謝のコメントをいただきました。

（2）「認定（特例認定）・指定NPO法人のゆるやかなネットワーク学習会」の 企画運営（神奈川県委託事業）

認定（特例認定）・指定NPO法人で活動する方々を対象に、クラウドファンディングによる資金調達をテーマにしたオンライン学習会を県と協働で開催しました。

〔認定（特例認定）・指定NPO法人のゆるやかなネットワーク学習会〕

- ・実施日：2022年11月18日（金）13時30分～16時30分
- ・開催方法：Zoomによるオンライン研修
- ・対象：県内の認定（特例認定）・指定NPO法人
- ・参加者数：12団体（13名）
- ・内容

【第1部】身近な事例に学ぶクラウドファンディング成功のコツ

報告者：白岩 正明さん（認定NPO法人若葉台 理事長）

阿部 真紀さん（認定NPO法人エンパワメントかながわ 理事長）

講師：鎌倉 幸子さん（かまくらさちこ株式会社 代表取締役）

【第2部】資金調達の工夫や新たな取り組みについて

ファシリテーター・全体進行（ソーシャルコーディネートかながわ）

開催報告：認定（特例認定）・指定NPO法人のゆるやかなネットワーク学習会

【第1部】身近な事例に学ぶクラウドファンディング成功のコツ

はじめに、白岩 正明さんより若葉台の実践事例（空き店舗を改修して多様・多世代の住民の交流拠点をつくる資金の一部として400万円をクラウドファンディングで調達）の紹介、続いて、阿部 真紀さんよりREADYFOR(クラウドファンディングのプラットフォーム)を利用した実践紹介（デートDV専門の相談窓口を運用するための継続寄付の募集など）がありました。質疑応答を挟み、講師の鎌倉 幸子さんより「身近な事例に学ぶクラウドファンディング成功のコツ」と題して、ご自身の実践例や支援例に触れながら、クラウドファンディングの特徴、スタートから終了までの一連の流れ、様々なプラットフォームの紹介、成功させるためのポイントなどについて講義がありました。講義の後に参加者と質疑応答が行われ、参加者からはプラットフォームの選定方法などについて質問がありました。

【第2部】資金調達の工夫や新たな取り組みについて

参加者は4つのグループに分かれ、ファシリテーターの進行の下、各団体における資金調達の工夫や新たな取り組みについて情報交換を行いました。その後、各グループで話した内容を全体で共有し、講師への質問を行いました。講師からは、寄付募集サイトの効果的なPR方法などについてフィードバックがありました。

2. 市民活動支援センターの連携・人材育成

「アドバイザー相談業務」のなかで、県内の公設ボランティア活動支援施設（以下、「支援センター」と）との連携強化を目的に、センター長等を対象とした意見交換会の企画運営を担い、県内の支援センター間の相互研鑽・交流の場づくりに貢献しました。また、県内支援センターの連携強化と、支援センター職員の相談対応力の向上をめざし、希望のあった支援施設に相談員を派遣する「出張相談会」や、支援施設間で日ごろの活動相談において対応に迷った事例などを共有し、互いに学び合う機会として「相談対応力向上研修会」を行いました。

また、昨年度に引き続き、自主事業として支援センター職員向けに「新任スタッフ研修会」を行いました。また、おだわら市民交流センターUMECOの依頼を受け、センター職員を対象に「相談対応力向上研修」を行いました。

(1) 県内ボランティア活動支援センター施設長会議の企画運営協力

（アドバイザー相談業務）

県内支援センターの施設長等による意見交換会を県と協働で企画・開催しました。

〔県内ボランティア活動支援センター施設長会議〕

- ・実施日：令和4年9月15日（木）13時30分～16時00分
- ・開催方法：Zoomによるオンライン会議
- ・対象：県内の公設ボランティア活動支援施設の施設長や当該施設の所管課長
- ・参加者：35名
- ・テーマ：「組織間の連携・協働の可能性を考える 他組織・他地域と連携した団体支援」

- ・ 内容 :
 - ・ 「施設間連携のメリットと課題」：事前アンケート回答の内容を説明
 - ・ 事例発表・話題共有
 - 話題提供者：藤沢市市民活動推進機構センター長 関野豪星さん
 - とつか区民活動センター長 中島伴子さん
 - ・ 意見交換

開催報告：県内ボランティア活動支援センター施設長会議（CEO ミーティング）

支援センターの役割として、より充実した団体支援策を提供できるように意見交換や相互協力で理解を深めていくため、各支援施設からの報告をもとに、他組織・他地域との連携事業を実施した上で、その意義やメリット、課題等について意見交換を行いその後全体共有しました。

また、NPO 協働推進課より「ボランティア団体との協働連携の推進」について、当法人よりインボイス制度、電子帳簿保存法について情報提供しました。参加者からは、「他施設の様々な活動を知ることができ、有意義であった、参考になった」「日頃からの組織間の交流が大切でその積み重ねが、連携や協働の実現に繋がると感じた」といった感想がありました。

(2) 県内ボランティア活動支援施設職員向け研修会の企画運営（自主事業）

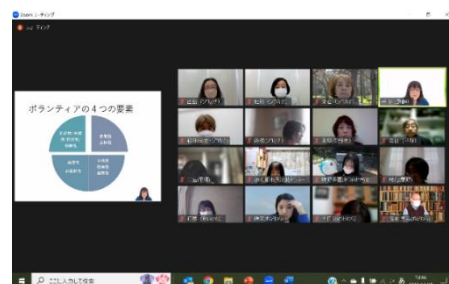
県内の支援センターで市民活動・NPO 支援に携わるスタッフを対象に、相互交流・研鑽を目的とする「新任スタッフ研修会」開催しました。

〔県内ボランティア活動支援施設職員向け研修会〕

- ・ 日時：2022 年 11 月 15 日(火) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
- ・ 開催方法：Zoom によるオンライン形式、参加費：1,500 円（1 名）
- ・ 参加者：6 施設 10 名
- ・ 内容 :
 - ・ 講義：「NPO の基礎知識 知っておきたい NPO のこと
支援センターの役割とは」（講師：手塚明美）
 - ・ ブレイクアウトルーム：グループごとに感想共有、講師へ質問を考える
 - ・ 全体共有：今日の気づき「明日から何をしますか？」

開催報告：ボランティア活動支援施設 新任スタッフ研修会

主に支援施設の初任者（着任から概ね 2 年以内の方）を対象に、ボランティア、NPO・市民活動について理解を深め、市民の活動を支える支援センタースタッフとしての心構えや役割について共に考えていくことを目的に開催しました。当日の参加者からは、「支援センターが支援すべき着眼点がよくわかりました」「今後の業務に反映させていきたいです」「自分事として応用できるような内容で良かったです」といった感想が聞かれました。



(3) 相談力対応向上研修（事例を用いた相互学習会）（アドバイザー相談業務）

県内支援センターの相談業務に携わる職員の相談対応力の向上に資するための学習会を県と協働で企画・開催しました。

〔相談力対応向上研修〕

- ・実施日：2022年12月9日（金）9時30分～12時30分
- ・会場：かながわ県民センター11階 コミュニティカレッジ講義室2
- ・対象：県内公設ボランティア活動支援施設で相談業務に携わる職員
- ・参加者数：8施設12人
- ・内容
 - 1 事例を用いた相互学習
 - 事例1：活動の立ち上げに関する相談事例
 - 事例2：法人化、団体設立に関する相談事例
 - 2 相談業務に関する意見交換（グループワーク）
 - 3 ボランティア活動相談窓口の相談事例紹介（資料配布と説明）

開催報告：相談対応力向上研修（事例を用いた相互学習会）

1 事例を用いた相互学習

その場で渡した2つの事例と設問について、グループで検討を行いました。

事例1の活動の立ち上げに関する相談事例では、「自宅または自宅の近所で、多様なひとが集まる交流スペースを作りたい」という個人からの相談、事例2の法人化、団体設立に関する相談事例は、「月に1回子ども食堂活動をしているボランティアグループからの、NPO法人化や資金集めに関する相談」について、検討しました。

グループワークにはソーシャルコーディネートかながわのボランティア活動窓口相談員が各グループ2人ずつオブザーバーとして参加しました。今回は相談経験が浅い参加者が多かったですが（相談経験1年未満が5人、2～3年が5人）、参加者だけで、相談者への問いかけやその対応まで導くことができていました。

2 相談業務に関する意見交換

日ごろの施設の状況や相談対応についての情報交換や意見交換をグループで行いました。また、ボランティア活動相談窓口で扱った相談事例の共有を行いました。

相談経験が豊かな参加者やソーシャルコーディネートかながわの相談員が、市民活動に関する最近の動きなども情報提供しました。休憩時間も含め交流できたことで、会場集合形式のメリットが生かされていました。



(4) 相談対応力向上研修 in UMECO (自主事業)

12月に支援センタースタッフ向けに開催した相談対応力研修を、おだわら市民交流センターUMECOスタッフの相談スキルアップ研修事業として実施しました。

〔相談対応力向上研修 in UMECO〕

- ・日時：2023年2月6日(月) 13:00～15:00
- ・会場：おだわら市民交流センター UMECO
- ・参加者：10名
- ・研修担当者：4名
- ・内容：
 - ・相談業務について情報提供
 - ・2人一組のロールプレイで相談業務体験
 - ・全体共有、感想、質問

3. 市民参加・地域人材育成

(1) かながわコミュニティカレッジ事務局の運営

かながわコミュニティカレッジは神奈川県が開設する、地域で活動する県民の「学びの場」です。ボランティアやNPOなど、地域課題の解決や地域の活性化に向けた活動に取り組む人づくりを支えています。当法人は「令和4年度かながわコミュニティカレッジ運営業務」をかながわ県民活動サポートセンターより受託し、カレッジ事務局の運営を担いました。コミュニティカレッジの運営は2015年度より毎年委託を受け、今年で8年目となります。

事務局では、講座の企画調整や広報・実施運営を行い、ボランティアやNPO等の活動を行う個人・団体の学びの場を支えました。また、講義室での対面講座に加え、新型コロナウイルス感染症感染拡大への対応として、選択的にオンラインでの講座やハイフレックス型講座も開催しました。一部の講座については講義を録音録画して後日受講生に配信するサービスも行いました。

<講座数、受講者総数>

2022年度のコミュニティカレッジは「地域のつながり・支え合い」「災害救援・減災・防災」「団体運営」「ICT活用」「保健・医療・福祉」「子どもの健全育成」「人権」「その他」の分野から多様なテーマで年間計36講座(40本)を開講しました。

(開講講座の一覧は後述)。今年度の受講者数は、講義室の定員上限30名という制約があったものの、延べ1,003人でした。

以下に、当法人が主体となって企画運営した講座、当法人の会員が講師として関わった講座、受講生交流会について詳述します。

〔特別講座「人生 100 歳時代 地域で学び、地域で活躍しよう」〕

これまでボランティア活動の経験がない方が参加しやすい講座として、オンラインの無料セミナーを開講し、講演後に、かながわコミュニティカレッジ講座の紹介を行いました。本セミナー参加後に講座に申し込まれた方も複数名おり、参加者が次のステップへつながるきっかけを提供できました。

参加者アンケート回答者 70 名のうち 6 割強が男性でした。年齢層は 60 代が最も多く（37.1%）、次いで 70 代（28.6%）でした。回答者の 4 割が初めてコミュニティカレッジ講座を受講したと回答しており、セミナーを受けて地域活動に「参加したいと思った」は 28.6%、「どちらともいえない」が 31.4%。「既に参加している」が 37.1%でした。

特別講座「人生 100 歳時代 地域で学び、地域で活躍しよう」

日 時：7 月 3 日（日）13:30～15:00 オンライン

参加者：オンライン 88 名 会場聴講 5 名 計 93 名（申込数 105 名）

テーマ：人生 100 歳時代 地域で学び、地域で活躍しよう

内 容：（第 1 部）講演「絵巻物で読み解く江戸の市民社会

～エコでボランティアな江戸の町に学ぶ」

講師 椎野修平氏

（認定特定非営利活動法人日本 NPO センター特別研究員）

（第 2 部）かながわコミュニティカレッジの紹介

【参加者の感想（一部抜粋）】

- ・ ボランティアな営みは昔から色々な所にあったことが分かりました。自分もコミュニティカレッジを通じて知識を習得しボランティア活動に参加できたと思いました。
- ・ コミュニティでのボランティアや 3R が当たり前であった時代があることがよくわかりました。
- ・ ボランティア活動と「もったいない」を実践していた江戸時代の人々の暮らしは、見習うところがあると感じました
- ・ オンラインセミナーは初参加でしたが、特別講演は興味深い内容でした。以前から生活者視点を持ち SDGs 活動に取り組んでいます。環境問題は、行政主導に全てを委ねるのではなく、企業や個人も環境に配慮したライフスタイル・価値観の共有が必要だと考えています。

〔スマホで簡単に作ろう！30 秒の活動紹介動画（連携講座）〕

市民団体が気軽に多くの人に情報発信ができるよう、スマホやタブレットを使った動画作成のコツを学ぶ講座を実施しました。地域で活動する団体や個人が動画を作成できるようになり、活動の様子を動画で発信することで活動の魅力をダイレクトに伝えることができます。

NPO、ボランティアの活動を知ってもらうツールとして、またコロナ禍での情報発信の新たな手段として、団体の活動紹介動画を作成し、YouTube に投稿することで、活動の魅力を知って頂く PR の機会となります。スマホやタブレットで短時間の動画を作れることを知り、団体の活動に役立ち、また地域に活動を知って頂く魅力的な活動ツールを知る講座となりました。

講座名：スマホで簡単に作ろう！30秒の活動紹介動画

日 程：8月30日（火）、9月6日（火）全2回 13：30～15：30

受講者：15名

受講料：2,000円

講 師：出田遼聖氏

内 容：第1回 動画づくり入門 ～動画ってどう作るの？～

撮影のポイント、動画編集アプリの使い方など、動画作成の基本を学ぶ

第2回 動画編集体験 ～さぁ動画を作ってみよう～

スマホやタブレットで撮影した動画を編集して、YouTubeにアップ



〔NPO・ボランティア団体の活動と運営 基礎講座・実務講座〕

NPO・ボランティア活動に興味のある方、やってみたい方、NPO・ボランティア活動について学びたい方を対象とした基礎講座と、NPO活動について実践的な知識と具体的な団体運営ノウハウを学びたい方を対象とした実務講座を、それぞれオンラインで開催しました。県域からたくさんの方に受講いただきました。

講座名：NPO・ボランティア団体の活動と運営 基礎講座

日 程：10月26日（水）～11月16日（水）全4回 19：00～20：30

受講者：38名

受講料：3,000円

内 容：

第1回 NPOの基礎知識

（一社）ソーシャルコーディネートかながわ 理事・事務局長 藤枝香織

第2回 NPO・ボランティアグループの活動事例を知る

NPO法人まちと学校のみらい 副代表理事 葉石真澄

平塚市花水地区町内福祉村生活支援コーディネーター 林田直子

第3回 ボランティア・仲間の集め方

NPO法人アクションポート横浜 代表理事 高城芳之

第4回 活動資金の集め方

（一社）ソーシャルコーディネートかながわ 副理事長 藤井京子

講座名：NPO・ボランティア団体の活動と運営 実務講座

日 程：2023 年 1 月 11 日（水）、18 日（水）26 日（木）、2 月 2 日（木）全 4 回
19：00～20：30

受講者：46 名

受講料：3,000 円

内 容：

第 1 回 社会の変化と N P O

（一社）ソーシャルコーディネートかながわ 理事長 手塚明美

第 2 回 N P O の立ち上げと運営の実務

（一社）ソーシャルコーディネートかながわ 理事 西島朝子

第 3 回 団体運営の基礎

第 4 回 会議のやり方

N P O 法人れんげ舎 代表理事 長田英史



〔受講生交流会〕

かながわコミュニティカレッジ修了生・受講生を対象に、受講生交流会を開催しました。受講生が互いの近況や活動状況を情報交換し交流することで、活動の活性化や今後の活動に向けたモチベーションの継続につなげることを目的としました。

今年度の交流会は、一般社団法人ふらっとカフェ鎌倉代表理事の渡邊公子さんをゲストに迎え、移動式地域食堂「ふらっとカフェ鎌倉」の取り組みを紹介いただきました。その後、会場 4 グループ、ブレイクアウトルーム 3 グループでの交流会は、各グループに 1 名ずつ当法人のファシリテーターが入り、参加者の話を聴いてつなぐ役割を担いました。自己紹介や受講した講座の話、現在や今後の活動のことなど、それぞれのルームで活発な交流が生まれました。

今年度の交流会は、会場とオンライン同時に開催するハイブリッド形式で行いました。ハイブリッド開催の運営面で支障がないよう、逗子文化プラザ市民交流センターから音響映像のサポート人材を招き、交流会を技術面でサポートいただきました。

受講生交流会

日 程：令和5年1月14日（土）13時30分～15時30分 ハイフレックス開催

参加者：会場15名 オンライン13名 計28名

参加費：無料

内 容：地域活動事例紹介

＜食を介した心豊かな地域共生づくり

移動式地域食堂「ふらっとカフェ鎌倉」の取り組み＞

講師：一般社団法人ふらっとカフェ鎌倉 代表理事 渡邊公子氏

参加生交流会

相談窓口のご案内

【交流会参加者の感想】（アンケートより抜粋）

- ・交流会で同じグループになった方からも貴重な情報をいただくことができて、とても有意義な時間でした。
- ・行動を既に起こしていらっしゃる経験談をたくさん伺い、自分自身が前進する勇気を頂くことが出来ました。
- ・仕事と離れて、地域住民としてこれから何が出来なのか、ライフワークに立ち返るきっかけになりました。

2022 年度かながわコミュニティカレッジで開講した講座の一覧

(神奈川県主催講座) ★オンライン開催

講座名	講座企画実施団体	開催日
発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座 (基礎編)	NPO 法人びな・パートナーシップ・ひろば	7/1～7/21
犯罪被害者支援ボランティア養成講座(初中級)	認定 NPO 法人神奈川被害者支援センター	7/1～9/16
傾聴講座(入門編)①②③ ～人と関わる活動に向けてのスタート～	NPO 法人シニアライフセラピー研究所	7/5～8/16 9/6～10/18 11/15～12/6
災害ボランティア入門講座 ★	認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク (一社)ソーシャルコーディネートかながわ	7/20、7/27
災害ボランティアコーディネーター基礎講座	NPO 法人神奈川災害ボランティアネットワーク/ 協力:(一社)ソーシャルコーディネートかながわ (一社)ソーシャルコーディネートかながわ	8/6～8/27
NPO 会計講座 ★	協力:NPO 法人税理士による公益活動サポート センター	8/25～9/15
避難所運営に必要な多様性に配慮した視点を学ぶ	NPO 法人男女共同参画おおた	8/28～9/11
聞き書きボランティア養成講座	聞き書きの樹	9/8～10/20
共助の地域づくりを推進する講座	これからの福祉を考える会横浜 協力:(一社)ソーシャルコーディネートかながわ	9/21～11/16
発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座 (実践編)	NPO 法人びな・パートナーシップ・ひろば	9/30～11/24
空き家活用による地域課題の解決と価値の生み出し 方 ～住教育による正しい知識と行政との連携で空き 家を活かそう～	認定 NPO 法人藤沢市民活動推進機構 協力:(一社)全国空き家アドバイザー協議会	10/8～10/22
多文化共生時代を生きる ～多様に進む市民活動や大学等との地域連携～	NPO 法人参加型システム研究所	10/20～11/17
地域活動リーダー養成講座～地域活動の課題と役割 を理解し、実践に向けてアドラー心理学の対人援助の スキルを学ぶ	輝楽理庵(きらりあん)	10/22～11/12
NPO・ボランティア団体の活動と運営 基礎講座 ★	(一社)ソーシャルコーディネートかながわ	10/26～11/16
子育て世代の親に寄り添い、孤立・虐待を防ぐ相談員 ～子育て期の相談リスナルケアラー養成講座(入門 編)	NPO 法人ひだまりの森	10/28～11/25
『障害』を私たちで解決しよう!世界基準の障害教育= 障害平等研修(DET)を受けてから、車椅子ユーザー・ 視覚障害者と街歩きをしてみよう	DET 神奈川	11/19、11/26
食品ロス削減・有効活用の現状を学び、地域での食支 援活動を実践する	(一社)ソーシャルコーディネートかながわ	11/28～12/12
傾聴講座(実践編) ～良好な関係づくりへステップアップ～	NPO 法人シニアライフセラピー研究所	11/15～12/6
大人になって知る発達障がいとひきこもりを考える講座 ～誰もが楽しめる園芸作業を通じて、人と人との繋がりを 学びましょう～ 園芸療法ボランティア入門講座	ふわふわの会 協力:(一社)ソーシャルコーディネートかながわ	11/15～12/13
新聞記者に学ぶ情報発信スキルアップ講座 ～人に 伝わる文章を書く技術を学ぶ～(NPO 活動・地域活動 向け) ★	NPO 法人日本園芸療法研修会	12/22～2/16
新聞記者に学ぶ広報紙作りの基礎講座(NPO 活動・ 地域活動向け) ★	(一社)ソーシャルコーディネートかながわ 協力:朝日新聞ジャーナリスト学校	1/10～1/31
	(一社)ソーシャルコーディネートかながわ 協力:朝日新聞ジャーナリスト学校	1/18、1/25
NPO・ボランティア団体の活動と運営 実務講座 ★	(一社)ソーシャルコーディネートかながわ	1/11～2/2

(連携講座) ★オンライン開催

講座名	講座企画実施団体名	開催日
防災教育ファシリテーター養成(初級編)	認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク	7/2～7/23
外国につながる子どもの学習ボランティア入門講座	NPO 法人日本語・教科学習支援ネット	7/10～8/20
外国につながる子どもの学習支援者ブラッシュアップ講座	NPO 法人日本語・教科学習支援ネット	7/10～9/4
スマホで簡単に作ろう！30秒の活動紹介動画	(一社)ソーシャルコーディネートかながわ	8/30、9/6
回想法リーダー養成講座 オンライン★	回想法プランニング	10/7～12/9
理科推進スタッフ体験講座	認定 NPO 法人おもしろ科学たんけん工房	10/19～2/22
犯罪被害者支援ボランティア養成講座(上級)	認定 NPO 法人神奈川被害者支援センター	10/21～12/23
～超高齢化社会を地域とともにサポート～「歌うチャールミング体操」リーダー養成実践講座	NPO 法人チャールミングライフサポート協会	11/2～12/7
野生動物リハビリテーター養成講座(講義編)	NPO 法人野生動物救護獣医師協会 神奈川支部	11/27、12/4
子どもシェルターのボランティア養成講座	認定 NPO 法人子どもセンターてんぼ	2/4～3/4

(特別講座) オンライン開催

講座名	講座企画実施団体	開催日
人生 100 歳時代 地域で学び、地域で活躍しよう 「絵巻物で読み解く江戸の市民社会 ～エコでボランティアな江戸の町に学ぶ～」 ※オンライン講座	(一社)ソーシャルコーディネートかながわ	7/3

(修了生交流会) ハイフレックス開催

名称	講座企画実施団体	開催日
かながわコミュニティカレッジ受講生オンライン交流会 地域活動事例「食を介した心豊かな地域共生づくり 移動式地域食堂『ふらっとカフェ鎌倉』の取り組み」	(一社)ソーシャルコーディネートかながわ	1/14

4. 企業・大学等との連携、協働推進に向けた取組み

(1) 災害時に機能する被災者支援のためのネットワークづくり

<みんなかな発足の経緯と活動目的>

東日本大震災以降、国内各地の被災地において、発災後の長期にわたる被災者支援の「もれ・むら」をなくすために、NPO・ボランティアと行政、社会福祉協議会が連携の取れた支援活動を行う動きが進みました。

神奈川県内においても、大規模災害が起きたときに備え、多様な専門性とネットワークをもつNPO・ボランティア団体、職能団体、企業等の民間団体が、行政、社会福祉協議会と連携して被災者・被災地域の支援活動を進めるための環境整備が必要となっています。2019年12月に内閣府主催で行われた神奈川県の研修会には、県内の自治体、社会福祉協議会、NPO、専門団体等から100名を超える参加者が集まり、災害に備えた平時からの顔の見える関係づくりや、多様な支援団体による情報共有の重要性を確認しました。

これを受けて2020年4月、当法人、認定NPO法人市民セクターよこはま、認定NPO法人かながわ311ネットワークの3団体が「災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ（準備会議）」（以下、みんなかな）を立ち上げました。みんなかなは、県、県社会福祉協議会、県共同募金会、災害時の支援団体等と共に、災害に備えて県域の情報共有・連携体制づくりを行っています。また、災害時に被災者支援・助け合い活動にかかわる担い手同士がつながり、互いの活動を補い合えるよう、平時から学習会や情報交換を通じたネットワークづくりを進めています。

<2022年度のみんなかなの活動>

みんなかなを構成する3団体は、かながわ311ネットワークは防災活動や災害時の受援体制構築の経験と専門性を、市民セクターよこはまは横浜市域のNPO支援と協働連携のコーディネート力を、当法人は神奈川県域のNPO支援と協働連携のコーディネート力を強みとしています。それぞれの団体のもつ強みやネットワークを生かし、活動を進めました。みんなかなの活動を推進するため、当法人から理事1名がみんなかなの事務局に出向しました。

2022年度は、5月の会員総会で団体名称から（準備会議）を外し、「災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ」（以下、みんなかな）として活動を進めました。「かながわボランティア活動推進基金21協働事業」に採択されて2年目となり、県レベルの災害時情報共有会議の枠組みづくりに向けて、県の協働部署、県社協、NPO等が互いの災害時の活動について理解を深めることを目的に図上演習（ワークショップ）を行いました。また、県内NPO法人を対象に「災害への備えと支援活動に関する実態調査」（アンケート調査）を行い、調査結果をホームページに公開しました。また、3年目となった横浜市域の三者連携を進める活動は、横浜市と協働で「災害時の外国人支援」、「災害時の子どもの居場所づくり」を切り口に勉強会を開催しました。

(2) かながわ人生 100 歳時代ネットワークへの参加

神奈川県では「かながわ人生 100 歳時代ネットワーク」という行政、大学、企業、NPO 等が連携・協働するためのプラットフォームをつくり、県民一人ひとりが生涯にわたり生き生きと充実した生活を送ることができる社会を実現するため、「学びの場」から「活動できる場」へと繋ぐ仕組みの創出を目指しています。当法人は、NPO であり中間支援団体としての立場で、創設時よりネットワークに参加しています。今年度は、かながわコミュニティカレッジ事務局が定例意見交換会に毎月参加し、情報収集・交換・連携を行いました。

(3) ボランティア活動施策推進会議の企画運営（神奈川県委託事業）

神奈川県政策局 NPO 協働推進課が主催したボランティア活動施策推進会議（課長・実務担当者合同会議）に関し、テーマにふさわしい講師情報や市町村の協働・連携事例の情報の提供、当日のオンライン会議の運営について業務を受託しました。

講師として、椎野修平理事が参加し、コロナ禍を経た協働の現状とさらなる協働の推進するために市町村に必要なことについて講義を行い、参加市町村から発表があった協働推進に関する取組事例についてコメントを行いました。

(4) 県域の仲介活動

認定 NPO 法人日本 NPO センターの依頼を受け、明治ホールディングス株式会社株主優待で寄贈されるお菓子の寄贈先を推薦しました。「障がいのある子どもを対象とした活動を行っている団体」や「自然災害の被災者支援、広域避難者支援を行っている団体」にお菓子の寄贈が届くよう、県内の市民活動支援センター7 か所、コミュニティカフェ 1 か所に仲介手配をしました。

寄贈先団体・施設：

認定 NPO 法人トムトム「あいあいクラブ」、ちがさき開智舎（茅ヶ崎市民活動サポートセンター経由）／NPO 法人サポートハウス ワン・ピース（大和市民活動センター経由）／バリアフリーネットワークおだわら、NPO 法人命を大切に作る小田原を創る会、（おだわら市民交流センター UMECO 経由）／ゆいまーる、特定非営利活動法人ワーカーズコープ座間地域福祉事業所放課後等デイサービス オリーブ（座間市民活動サポートセンター経由）／特定非営利活動法人 Music of Mind、特定非営利活動法人ドリームエナジープロジェクト（藤沢市市民活動推進センター経由）／一般社団法人 sukasuka-ippo／NPO 法人 FunPlace39、（横須賀市立市民活動サポートセンターより推薦）／すこやかいきいき協議会（逗子文化プラザ市民交流センター経由）／NPO 法人スペースナナ

5. 講師・委員等の派遣

自治体や各地の支援組織、市民団体などの依頼に応じてセミナーや学習会の講師、会議等の委員を務めました。

<講師・委員・アドバイザーなど派遣実績>

- ・川崎市指定 NPO 法人審査会委員 <西島>
- ・水源環境保全・再生かながわ県民会議 市民事業専門委員 <藤井>
- ・平塚市市民活動推進補助金審査会委員 <藤井>
- ・NPO 支援かまくらファンド審査員 <手塚>
- ・中央ろうきん助成制度“カナエルチカラ” 2023 本選考委員 <手塚>
- ・かながわ生き生き市民基金理事、選考委員長 <手塚>
- ・かながわ子ども未来ファンド助成選考委員 <藤枝>
- ・ほどがや市民活動センター評議会委員 <藤枝>
- ・環境パートナーシップオフィス（EPO）及び地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）運営等業務外部評価委員会委員 <藤枝>
- ・かながわ民際協力基金申請応援プログラム（かながわ国際交流財団）
<2022 年 4 月、5 月、藤枝>
- ・ボランティア参加導入研修会（パルシステム神奈川）
<2022 年 9 月、葉石、藤枝、西島>
- ・環境学習リーダー養成講座「市民活動について」（神奈川県環境科学センター）
<2022 年 10 月、手塚>
- ・保土ヶ谷区地域デザインセミナー第 1 回・第 2 回（保土ヶ谷区）
<2023 年 1 月、手塚、葉石、藤井、西島、藤枝>

6. 総会・理事会の開催状況

2022 年 5 月 17 日	第 1 回理事会
2022 年 6 月 15 日	会員総会・第 2 回理事会
2022 年 10 月 3 日	第 3 回理事会
2023 年 1 月 17 日	第 4 回理事会

以上